



- 1) 個人会員の参加
- 2) 組織(団体)会員と個人会員はどう区別するか、会費制の検討
- 3) FE日本委員会の(一般社団)法人化

前回の詳細:

日時: 2019年12月19日(木)9:30~17:40(受付開始9:00)

会場: アキバプラザ6階セミナールームI  
(東京都千代田区神田練堀町3 富士ソフトアキバプラザ)

主催: フューチャー・アース日本委員会

共催: 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)  
社会技術研究開発センター(RISTEX)

協力: Future Earth国際事務局日本ハブ、同アジア地域センター

無料・招待制



午前: 日本学術会議「地球温暖化」への取組に関する緊急メッセージについて、日本委員会参加組織紹介

午後: 日本委員会メンバーの他、ビジネス・NGO・行政など様々なステークホルダーを交えて、3つのテーマについて  
意見交換(1)気候変動・生態系・健康 (2)気候変動と防災・減災 (3)生物多様性



## 次回サミットの目標

1. Future Earth研究コミュニティとステークホルダーの連携
2. 国内と国際のFuture Earth活動の接続
3. 国内Future Earth関係者のネットワーキング

## (2019年度のFE日本サミット)

### 主な目的:

- ・日本の GRPs, KANs 関係者が、人文社会学者およびステークホルダーを交えた議論を通じて、FE 研究の方向性やテーマを co-design する。以下の点に留意する。□
- ・2017 年に作成された Japan Strategic Research Agenda を下敷きにする。□
- ・国際 FE で議論されている Science for Earth System Targets への関わりを検討する。□
- ・Belmont Forum その他、新しい予算機会への取組みを検討する。

### 実施方法(案):

2019年11月に、JST RISTEXのFEプロジェクトの報告会と併催して(たとえば、報告会の翌日に)実施する。その場合、会場はJSTの会議室が候補となる。



## 次回サミットの目標

1. Future Earth研究コミュニティとステークホルダーの連携
2. 国内と国際のFuture Earth活動の接続
3. 国内Future Earth関係者のネットワーキング

## (2021年度の案)

### 主な目的(案):

- ・日本の GRPs, KANs 関係者が、人文社会学者およびステークホルダーを交えた議論を通じて、FE 研究の方向性やテーマを co-design する。以下の点に留意する。□
- ・特にSDGsに関連した課題を検討する。□
- ・国際 FE で議論されている課題に関連した課題(Anthropocene, Tipping points, Nexus etc.)を検討する。□
- ・Belmont Forum その他、新しい予算機会への取組みを検討する。  
(FE関連の学際、超学際研究へのfundingsの機会はまだ少ない?)

### 実施方法(案):

- ・FE日本サミット2021: 2021年度中(12月~1月)に実施する。その場合、オンラインとface-to-faceを併用。会場は?
- ・FE研究会: 月1回程度。FEオンラインをベースにする。FutureEarth-Japan メーリングリストで情報を流す。